

(株)CCTV高知が防災用品寄贈

2月8日(木)、(株)CCTV高知から防災用品セット100個が寄贈され、役場本庁で防災用品贈呈式が行われました。

防災用品セットには、ランタンや簡易トイレなど、20種類の用品が入っています。

1月1日(月)に発生した「令和6年能登半島地震」を受け、いつか起こると言われている南海トラフ地震が人ごとではない、普段からレクリエーション事業などで協力している黒潮町に少しでも役に立てれば、との思いから寄贈されました。



中山社長(左)と松本町長(右)

中山社長(左)と松本町長(右)は、「もし災害が発生した場合には、高齢者や子どもなどが命を守るため、少しでも良い環境で過ごすように活用してもらえれば」と話しました。

大谷翔平選手寄贈グローブ 町内小学校へ到着

メジャーリーガー大谷翔平選手からのグローブが1月17日(水)に町教育委員会へ到着し、同日、町内全ての小学校へ届けられました。

1校につき、右利き用が2個、左利き用が1個、計3個ずつのグローブが届けられています。

入野小学校では、1月23日(火)に児童らへグローブがお披露目されました。児童らは、「軽くて使いやすい」と話しました。



グローブを使い野球をする児童

「野球しようぜ」などのメッセージが添えられていました。



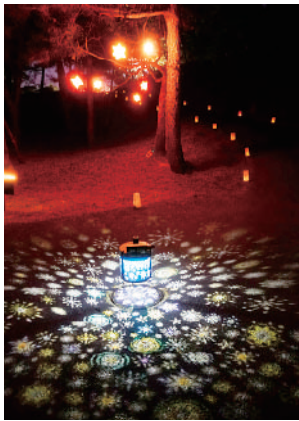
お披露目の様子

シーサイドギャラリー冬きらめくwaiwai☆park

1月26日(金)から28日(日)までの3日間、「シーサイドギャラリー冬きらめくwaiwai☆park」が開催され、期間中には約4千100人が来場しました。

同イベント

は、土佐西南大規模公園40年記念事業として開催され、ふるさと総合センターや入野の浜周辺に、光の切り絵作家・酒井敦美さんと、灯工房ひよこさんによる光の作品が展示されました。



宮川公園での作品展示



松原での作品展示

来場した溝渕絢音さんと尾崎朱里さんは、「カラフルな世界が広がっていて、神秘的、幻想的で楽しかった」と話しました。

冬の野鳥観察会2024

2月10日(土)、17日(土)に、NPO 砂浜美術館主催の「冬の野鳥観察会2024」が開催されました。

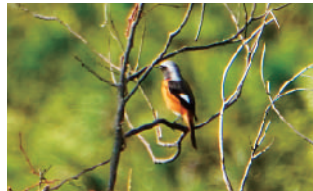
同イベントは、身近な自然に生きたる野鳥の世界を感じ、楽しんでもらいたいという思いから開催され、今年で7回目。

2月10日(土)の回では、森富美男さんと森隆秀さんの案内で、ビオスおおがたから松原、入野の浜周辺を散策。メジロやジョウビタキ、ダイサギなど、22種類の野鳥を見ることができました。



木に止まる野鳥を観察

参加した野口咲希さんは、「初めて野鳥観察会に参加した。ルリビタキが一番好き。直接見られなくて残念だったが、楽しかった。また参加したい」と話しました。



ジョウビタキ